

いばらき県議会だより



偕楽園
UME
The Lights 2026



偕楽園 UME The Lights 2026

期日:2026年2月13日(金)~3月15日(日)(金・土・日・祝日のみ)
時間:18:00~20:30(最終入場20:00)

偕楽園(水戸市)



議会改革をさらに進め、 県民に身近な開かれた議会の実現を

茨城県議会議員 館 静馬

新年明けましておめでとうございます。
昨年12月の第4回定例会におきまして、第118代議長に就任いたしました。職責の重大さに身を引き締まる思いであります。

長引く物価高騰が県民生活や地域経済に大きな影響を及ぼしており、経済力を高める施策を推し進めるとともに、物価上昇を上回る持続的な賃上げの促進を通じて経済の好循環を確実なものとするのが重要であります。

また、成長産業の企業誘致を強力に進めるとともに、新たな産業用地の確保などにより企業立地を加速し、若者に魅力ある雇用をつくる必要があります。特に、新規立地企業への地元雇用を促進し、本県出身の若者の定着

に結び付けることは極めて重要であります。

一方、医師の不足や地域偏在を解消するとともに、再編の方針が示された水戸保健医療圏について、病院の統合・機能分化に向けた協議を加速する必要があります。さらに、子どもたちが県民であることに誇りを持ち、郷土を愛する心を育てることも重要であります。

私は議長として、県議会におけるさまざまな取り組みを通じて県民に身近な開かれた議会となるよう務めながら、地域の声を県政に反映し、県全体の発展につなげられるよう、公正、円滑な議会運営に努めてまいります。県民の皆さまにおかれましては、一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

正副議長就任あいさつ

交流の拡大と活性化を図り、 地域のさらなる活力向上を



茨城県議会副議長 下路 健次郎

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
先の第4回定例会におきまして、第119代副議長に就任いたしました。職責の重大さを痛感しております。

人口減少社会において、地域の活力をさらに高めていくためには、ビジネス・観光などさまざまな分野の交流拡大と活性化を図る必要があります。本県では、交流を支える陸・海・空の広域交通ネットワークが整備進展し、産業の活性化や観光振興が図られてきました

が、北関東の玄関口として経済・交流活動を支える茨城港常陸那珂港区や広域的な幹線道路の整備推進などにより、ネットワークのさらなる拡充に取り組むことが重要であります。

一方、地震や台風、ゲリラ豪雨など、頻発

化・激甚化する自然災害などから県民の命と健康、暮らしを守るため、万全の備えを進

め、防災・減災やインフラの老朽化対策など、災害・危機に強い県づくりに取り組みなければなりません。また、原子力災害時における広域避難計画について、市町村が実効性のある計画を策定できるよう、しっかりと支援していくことも重要であります。

県議会においては、県民の皆さまの声を県政に反映できるよう、館議長を補佐し、円滑な議会運営に努めてまいりますので、県民の皆さまには、なお一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

〈県議会HP〉

<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>
本会議および予算特別委員会を生中継
および録画中継しています



〈いばキラTV〉

<https://ibakira.tv>
本会議および予算特別委員会を生中継
および録画中継しています



〈県議会公式 X〉

<https://x.com/ibarakikengikai>
本会議や委員会などの議会活
動の情報を発信しています



〈県公式 LINE〉

<https://lin.ee/6xV7ZIQ>
友だち追加で、いばらき県議会
だよりの発行情報などをお届け
します



主な内容

- 第4回定例会の主な日程、一般質問…………… 2~3面
- 今定例会で可決された議案など…………… 3面
- 常任委員会の審査から…………… 4面
- 閉会中の委員会活動…………… 5面
- 各会派基本方針など…………… 6面
- 決算特別委員会など…………… 7面
- 未来を拓く新たな茨城づくり調査特別委員会など…………… 8面

第4回定例会の
主な日程

令和7年第4回定例会は、左記の会期日程で開催されました。

11月28日(金)	本会議	(開会、知事提出議案説明)
12月3日(水)	本会議	
4日(木)	本会議	
5日(金)	(一般質問・質疑)	
12月9日(火)	常任委員会	
12月11日(木)	未来を拓く新たな茨城づくり調査特別委員会	
12月12日(金)	本委員会議	
12月15日(月)	本会議	(委員長報告、採決、閉会)

一般質問(要旨)

●質問者

12月3日(水)

金子 晃久 議員
(いばらき自民党)

櫻井 信幸 議員
(茨城無所属・政策の会)

木村 喜一 議員
(いばらき自民党)

12月4日(木)

塚本 一也 議員
(いばらき自民党)

秋山 政明 議員
(無所属)

諸橋 太一郎 議員
(いばらき自民党)

12月5日(金)

石塚 隼人 議員
(いばらき自民党)

岩澤 信 議員
(いばらき自民党)

黒部 博英 議員
(いばらき自民党)



こちらから録画映像でご覧になれます。▶



櫻井 信幸 議員

茨城無所属・政策の会
石岡市選出



農業高校等における
施設・機械等のスマート化

議員 変化する農業の現場で即戦力として活躍できるよう、実践的にスマート農業を学べる環境の整備が重要と考えるが、農業高校などにおける施設・機械のスマート化の現状と、今後の整備方針は。

教育長 県立学校施設は、老朽化が進んでいるため、「茨城県立学校施設の長寿命化計画」を策定し、順次、大規模改修を実施している。また、スマート農業のための設備・機器については、優先順位を精査し、必要な整備を進めていく。

高浜駅周辺のまちづくり

議員 高浜駅周辺は、同駅舎の老朽化やバリアフリー化の未整備、大雨時の水田の冠水などの課題がある。今後、石岡市が高浜駅周辺のまちづくり構想を示した場合、県はどう関わっていくのか。

土木部長 国の都市構造再編集中心支援事業が活用できるよう、立地適正化計画の見直しを市と一緒に考え、高浜駅周辺のまちづくりが円滑に進むよう支援していく。

(ほかに、農業高校等の教員の処遇改善、石岡市への県立歴史館分館の設置なども質問)



自動運転のトラクターを見学する様子



塚本 一也 議員

いばらき自民党
つくば市選出



TX延伸構想と都心部・
臨海地域地下鉄線との接続

議員 令和7年2月にTX延伸構想の事業計画素案が公表された。東京延伸は都心部・臨海地域地下鉄を経て、羽田空港との接続も期待される。TXと当該地下鉄は「相互乗り入れ」による接続が最も利便性が高いと考えるが所見は。

政策企画部長 TXを降車せずに羽田空港への移動が可能となる「相互乗り入れ」は、魅力的な提案と受け止めており、今後、東京都において接続に向けた具体的な検討が行われることを期待する。

国道354号谷田部バイパスの
全線事業化

議員 国道354号谷田部バイパスは、つくば市上横場地内から赤塚地内までの約3・4kmが未事業化区間として残されている。全線事業化に向けた今後の見通しは。

土木部長 未事業化区間については、整備中区間の進捗状況などを見極めながら事業化の時期について検討していく。県としては、まずは事業中区間の早期供用を目指し、つくば市内の国道354号の整備を推進していく。

(ほかに、県南地域の将来ビジョン、校長公募制度なども質問)



国道354号の渋滞状況



金子 晃久 議員

いばらき自民党
常総市・八千代町選出



鬼怒川緊急対策プロジェクトの
成果と今後の治水の在り方

議員 関東・東北豪雨から10年の節目を迎え、緊急対策プロジェクトはどのような成果を上げ、災害から得られた教訓を踏まえ、今後どのような治水対策を進めるのか。

土木部長 緊急対策プロジェクトでは、堤防強化に加え、マイ・タイムライン作成などのソフト対策も実施されてきた。被災経験を踏まえ、ハード・ソフトが一体の流域治水対策は重要と認識したところであり、引き続き、あらゆる関係者と協働して取り組んでいく。



鬼怒川決壊箇所での堤防整備
(常総市上三坂)

県民の声に対する
広聴・広報の在り方

議員 SNSによる誤情報の拡散の課題を踏まえ、県民の思いや課題の声をどのように拾い上げ、事実に基づく県政運営を進めるのか。

知事 今後も、個別具体的に県HPやSNSなどを通じて正しい情報を発信していくとともに、引き続き、県民の声を聞き漏らさないよう、きめ細やかな広聴に努め、戦略的な広報に取り組んでいく。

(ほかに、県立高校の受験生の可能性を広げる併願制、リチウムイオン電池による火災事故の防止策なども質問)



木村 喜一 議員

いばらき自民党
小美玉市選出



県立高校における給食の提供

議員 県立高校の希望する生徒へ給食が提供できれば、少子化で稼働能力に余裕が出た市町村給食センターの有効活用や、生徒の心身の発達などにも資すると考える。

給食の提供に関する県状況は。

教育長 大子清流高校と水戸桜ノ牧高校常北校で、地元自治体の申し出と協力の下、希望する生徒と教職員に給食が提供されている。市町村から相談があった場合は、衛生管理なども十分に確認し、学校と共に適切に対応していく。



県立高校における
給食提供の様子

太陽光発電施設の設置・管理

議員 2030年代後半以降、使用済太陽光パネルの排出量が急増すると推計されており、放置や不法投棄の問題が懸念される。危機感を持って計画的に対応していくべきと考えるが今後の取り組みは。

県民生活環境部長 廃棄等費用積立制度やリサイクルに向けた法整備の状況などを注視しつつ、事業終了後の太陽光発電施設が確実に撤去・廃棄されるよう、適切な制度運用について国へ求めていく。

(ほかに、霞ヶ浦導水事業、急傾斜地対策なども質問)



秋山 政明 議員

無所属
古河市選出



予測困難な時代に
成果を出し続ける組織運営

議員 知事の基本姿勢である「挑戦」「スピード感」「選択と集中」は、組織に十分に浸透しているのか。また、所属などの枠組みを超えた施策提案ができる仕組みづくりは。

知事 三つの基本姿勢は、予算調整や職員研修などを通じて浸透を図っており、着実に浸透してきている。施策提案については、コンテストや若手職員による施策提案プロジェクトなどを実施してきた。さらに職員が自由な発想で施策提案ができる環境をつくっていく。

インクルーシブ教育の
推進状況と中長期の考え方

議員 障害の有無などにかかわらず全ての子どもが同じ環境で学ぶインクルーシブ教育の推進に、中長期を見据えどう取り組むのか。

教育長 有識者などで構成する「特別支援教育推進会議」において、昨年度「インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育体制の在り方」について検討を行った。今後も、国の動向や本県の実情を踏まえ、研究を進める。

(ほかに、県内のいじめの現状と課題、今後の施策、医療的ケア児の成人移行期なども質問)



特別支援学校と中学校
との交流および共同学習

一般質問(要旨)

外国人材受入の促進及び受入環境の整備並びに地域別分析に基づく外国人住民と地域住民との共生していくための取組等

議員 地域ごとの実態を踏まえ、外国人と地域住民とが共生する茨城づくりを、どう進めていくのか。

知事 優秀な外国人材の受け入れ環境を整備する一方、県条例の制定検討など不法就労に対する取り組みのさらなる強化を図る。また、ヤードの監視を強化し悪質な事業者には厳正に対処する。さらに、副知事をトップとするプロジェクトチームを新設し、地域ごとの実情を把握の上、外国人などによるルール違反への包括的対策を講じる。



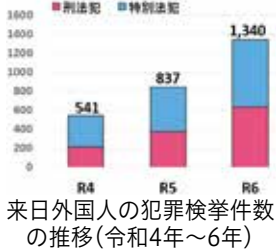
石塚 隼人 議員
いばらき自民党
坂東市・五霞町・境町選出

外国人犯罪の取締強化並びに外国人対策予算と人員の確保

議員 外国人受け入れの拡大に伴う地域住民の体感治安改善のため、外国人犯罪をどう取り締まるのか。

警察本部長 出入国在留管理庁と連携して不法滞在・就労の検挙・摘発を強力に推進し、地域住民などの情報も対策に反映している。自動車関連ヤードへの立入検査や、無車検車両や過積載の取り締まりに県警察を挙げて取り組んでおり、犯罪多発地域の警察署への本部捜査員の派遣なども行っている。

(ほかに、小中高校生のオーバードーズ・自殺防止対策なども質問)



大井川県政3期目の県北振興

議員 地域と協働しつつ、地域における希望の芽を大きく育ててもらいたい。3期目の県政における県北振興について、知事は何を重視し、どう力を注いでいくのか。

知事 県北地域の振興を最優先課題と位置付け、私自身が先頭に立ち、地域特性を生かした「差別化」を図り、従来の枠にとらわれない新たな発想で、地域と共に資源を磨き上げ、県北地域が人口減少社会のロールモデルとなることを目指し全力で取り組んでいく。



黒部 博英 議員
いばらき自民党
常陸大宮市選出

DXによる救急搬送体制の充実に向けた取組

議員 人口減少社会の中、県民の安心安全のために医療提供体制を整える上では、DXによる救急搬送体制の充実が必要と考えるが、どのように取り組んでいくのか。

保健医療部長 県では、消防機関と医療機関が情報を共有する県救急医療情報システムに、DXによる新機能を導入し、救急搬送の効率化を推進している。今後もデジタル技術を効果的に活用しつつ、救急搬送体制の充実を図っていく。

(ほかに、県立高校の防犯対策、ニセ電話詐欺対策なども質問)



県北振興の新たな取り組み「クロス」
Okukujiri「X」



諸橋 太一郎 議員
いばらき自民党
牛久市選出

アニメツーリズムやワインツーリズムなどの新しい形の観光振興

議員 近年急増しているインバウンドや首都圏などの旅行者を地方に呼び込むためには、アニメやワインなど、地域特有の観光資源を活用したツーリズムが必要である。と考えるが、今後の取り組みは。

営業戦略部長 県内の市町村や観光事業者との連携を一層強化し、他県と差別化できるような珠玉の企画の造成を進めるとともに、引き続き、アニメなどのコンテンツを活用した特長的で話題性のあるプロモーションを展開していく。

自転車の安全利用に係る取組

議員 自転車の事故を減らすためには、特に高校生の自転車運転者のヘルメット着用など、安全意識の向上が重要であるが、交通反則通告制度※導入を踏まえ、今後どう取り組んでいくのか。

警察本部長 引き続き、自転車の交通ルールなどの周知と交通安全教育、交通指導取り締まりの推進に併せ、道路管理者と連携した自転車通行空間の整備にも取り組む。(ほかに、障害者の就労継続のための環境整備、太陽光発電施設新設に係る考え方なども質問)



日本初の本格的な
ワイン醸造所
「牛久シャトー」のワイン



岩澤 信 議員
いばらき自民党
取手市選出

経済的負担の軽減と切れ目のない子育て支援

議員 安心して子どもを産み、育てられる環境づくりのためには、特に多子世帯の経済的負担の軽減と妊娠期からの切れ目のない支援が重要だと考える。県は今後どのように支援を進めていくのか。

福祉部長 地域間格差が生じることなく、安心して子どもを産み、育てる環境構築のため、今後も、全国一律の制度の充実を国に働き掛けるとともに、市町村や関係団体などとの強固な連携の下、切れ目のない支援に取り組んでいく。

内水氾濫対策の取組

議員 近年、全国的に大雨被害が多発している。県においても、2023年6月に取手市双葉地区で記録的な大雨による浸水被害があった。県の内水氾濫対策の取り組みと双葉地区の対策の進捗状況は。

土木部長 内水対策に関するワンストップ相談窓口を設置し、関係部局と連携して市町村を支援している。双葉地区では、市が排水路の嵩上げや水位監視システムの本格運用などに取り組んでいる。

(ほかに、国道294号における整備事業、取手競輪場の活用なども質問)



堤防を嵩上げた排水路の様子

今定例会で可決された議案など

今回の定例会では、意見書、予算、条例、人事、認定、報告、請願などの60件の議案などが可決、同意、認定、承認、採択されました。

議員提出

意見書

○私学助成の充実強化等に関する意見書

知事提出

令和7年度補正予算関係

○一般会計補正予算(3件)

○特別会計補正予算

○企業会計補正予算(9件)

条例の一部改正

○茨城県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部を改正する条例

○介護保険法に基づき介護医療院の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

○職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

○義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例等の一部を改正する条例

人事

○教育委員会委員の任命について

○監査委員の選任について

認定

○令和6年度茨城県公営企業会計決算の認定について

○令和6年度茨城県一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

報告

○地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について(2件)

その他

○令和6年度茨城県公営企業会計に係る資本剰余金の処分及び資本金の額の減少について

○令和6年度茨城県公営企業会計に係る利益の処分について

○当せん金付証券の発売について

請願

○令和8年度私立高等学校等経常費等助成に関する請願

※意見書および請願の全文は県議会ホームページでご覧になれます。



常任委員会の審査から

営業戦略農林水産委員会

サツマイモ基腐病発生後の生産者への支援策は
もしくぐされびよう
 かんしよ以外の栽培品目の選定、技術指導などの支援を行う

問 サツマイモ基腐病の発生状況と生産者への支援策は。

答 県内では過去に県北・県南で3件発生し、今年度ひたちなか市で初めて発生を確認したため、防疫措置を講じた。本病のまん延防止のため、発生ほ場では2年間かんしよを作付けしないこととしており、栽培品目の選定、技術指導などの生産者支援を行う。

問 プロサッカー観戦を契機に本県への観光誘客を促す「アウエイツリズム」が有効だと考えるが、所見は。

答 スポーツ観戦は本県を訪れる好機であるため、庁内をはじめ、地元自治体や観光協



ひたちなか市の名産品のかんしょ

総務企画委員会

金利上昇による県債などへの影響は

問 金利上昇による県債借り入れや資金運用への影響は。

答 令和7年10月の県債の金利は1・796%で前年比0・767%上昇したが、県債の発行抑制で14年ぶりに県債残高が2兆円を下回るなど、健全化を進めている。基金の債券運用は、令和6年までの定

る。今後は、日常ツールとしての定着と、政策立案など的高度な活用の両面で、職員の育成を進めていく。

（ほかに、県の経常収支比率の状況や数値改善に向けた取り組み、職員の通勤環境改善のための通勤手当支給の在り方なども質問）



生成AIの活用イメージ

土木企業立地推進委員会

腐朽菌が原因であり、根株や土壌の撤去を行う

問 近年、偕楽園の梅の立ち枯れや倒木が散見されている

が、生育状況や樹勢衰退の原因は何か。また、その対策は。答 腐朽菌の発生と感染拡大が原因である。対策は、文化財である地下遺構より上部の根株や土壌の撤去、消毒など

問 昨今の建設資材の高騰などにより工場建設着工が困難な状況も見受けられる。産業用地の土地売買契約後に着工するまでの企業の状況はどのように把握しているのか。

答 土地引き渡し後、半年以



偕楽園の梅の倒木状況（水戸市）

防災環境産業委員会

ツキノワグマの緊急銃猟を行う人材の確保への取り組みは
ライフル銃所持者を派遣できる体制の構築などに取り組む

問 ツキノワグマが出没した
際に、市町村長の判断で実施

する「緊急銃獵」を行う人材の確保にどう取り組むのか。

答 県猟友会と連携して、出没の可能性が高い県北地域のライフル銃所持者を登録し、市町村に派遣できる体制の構築を図る。また、捕獲研修や射撃訓練による技術向上を図っていく。

問 坂東市内で発生した再生資源物屋外保管事業場の火災を受け、基準不適合の事業者へどう指導していくのか。

答 保管状況などが不適な100事業場へ立入検査を実施し、改善、火災発生防止を指



令和7年6月に大子町で確認された
ツキノワグマ(住民提供)

文教警察委員会

教員の働き方改革の成果は
さまざまな取り組みにより、時間外在校等時間が着実に減少した

問 近年、学校現場における
教員の働き方改革が進められ

ているが、その成果は。

答 繁忙期を5時間授業にすることによる校務の時間の確保、教員間の情報共有のデジタル化、定時退勤日の設定などにより、全ての校種で時間

問 インターネットバンキングを使った不正送金の手口と対策の状況は。

答 銀行や企業などを装ったメールなどを送り、偽サイトに誘導して、ネットバンキングのパスワードなどを盗む



ボイスフィッシングに注意

保健福祉医療委員会

がんデイクアサロンの利用状況と今後の開催回数の見通しは月に1回開催している。今後は参加者の動向を見て検討する

問 県立中央病院のがんデイ
ケアサロンの利用状況は。以

前のように毎週開催してもらいたいと考えるが、所見は。

答 令和7年5月に再開し、11月までに7回開催、延べ28名が参加し、利用者には満足いただけている。今後の開催回数は、参加者の動向を見ながら検討していく。

問 こども誰でも通園制度を本格実施するに当たり、手を挙げる施設数や保育士の配置数による枠の制限などの問題があると思うが、見通しは。

答 現時点で県内市町村においては、約100施設が手を挙げています。職員配置などに



保育所などの施設で
子どもを預かっている様子

閉会中の委員会活動

営業戦略農林水産委員会 (金子晃久委員長)

【重点審査テーマ】営業戦略部関係：「国内外から選ばれる、魅力ある茨城づくりの推進」
農林水産部関係：「農林水産業の成長産業化の推進」

御前山ビレッジ (常陸大宮市)

御前山ビレッジは、「まちグループ要建設」が手掛ける「常陸秋そば」をテーマにした複合施設です。自社栽培の有機そばを施設で製粉し、打ちたてで提供するほか、宿泊施設やサウナを併設しています。海外からのインバウンドの取り組みなどの説明を受けました。



常陸秋そばの説明を受ける委員

THE BOTANICAL RESORT 林音 (那珂市)

THE BOTANICAL RESORT 林音は、従来の植物園にはない、泊まる・食べる・遊ぶなどの体験を楽しめる「日本初の泊まれる体験型植物園」です。県産木材を生かした温浴施設や県産食材を使ったレストランなどリニューアル施設の説明を受けました。



事業概要などの説明を受ける委員

総務企画委員会 (飯田智男委員長)

【重点審査テーマ】市町村域を超えた地域振興策の取組及び広域連携

常総市役所 (常総市)

常総市では、株式会社本田技術研究所と協定を締結し、さまざまな地域課題に対応するため、「AIまちづくり」に取り組んでいます。市内で実施しているHonda CI※を搭載した自動走行モビリティの技術実証実験などについて説明を受け、乗車体験しました。



体験乗車する委員

下妻市役所 (下妻市)

下妻市では、筑西市と連携して下妻駅から筑西市の川島駅までの間で、筑西・下妻広域連携バスを運行しています。2市の連携により、運行費用負担の軽減など、効率的な運行を実現しています。両市の担当者から取り組みの内容などについて説明を受けました。



説明を受ける委員

土木企業立地推進委員会 (高橋勝則委員長)

【重点審査テーマ】地域の活性化に寄与する戦略的な企業誘致、インフラ等の整備及び人材育成

一級河川 沢渡川 (水戸市)

沢渡川河川改修事業は、豪雨に伴う周辺地域の浸水被害を解消し、再度災害防止を目的として整備しており、今年度は捷水路整備工事などを実施しています。

事業概要や進捗状況などの説明を受け、現地視察を行いました。



現地視察をする委員

常陸那珂工業団地拡張地区 (ひたちなか市)

常陸那珂工業団地拡張地区では、県施行による企業ニーズを捉えた産業用地の整備を行っており、今年度は造成工事や区画道路の新設工事などを実施しています。

事業概要や進捗状況などの説明を受け、現地視察を行いました。



事業概要などの説明を受ける委員

防災環境産業委員会 (水柿一俊委員長)

【重点審査テーマ】環境に配慮した持続発展可能な社会づくり

公益社団法人茨城県農林振興公社 園芸リサイクルセンター (茨城町)

園芸リサイクルセンターでは、農業用使用済プラスチックを適正処理し、環境にやさしい園芸を進める取り組みを行っています。センターで実施しているリサイクルシステムについて説明を受け、工場棟やストックヤードなど施設内を視察しました。



施設を視察する委員

来福酒造株式会社 (筑西市)

来福酒造株式会社は、享保元年(1716年)に創業した老舗酒造で、代表銘柄「来福」などの醸造や「花酵母」を使用した日本酒造りを行っています。日本酒造りの概要や現状と課題などの説明を受け、酒蔵の見学を行いました。



説明を受ける委員

文教警察委員会 (磯崎達也委員長)

【重点審査テーマ】警察本部関係：グローバル化・デジタル化・高齢化が進展する地域社会における安心安全を守り抜くための多様な犯罪の取締の強化及び人員体制の充実等
教育庁関係：地域の未来を担う人材を地域の公立学校で育成するための教育体制の構築

茨城県教育委員会会議の傍聴 (水戸市)

教育委員会は、教育に関する事務を処理するため、都道府県、市町村などに設置される合議制の執行機関です。毎月定例で開催される茨城県教育委員会会議について、教育庁各所管課の報告および教育委員会委員による質疑を傍聴しました。



教育委員会会議を傍聴する委員

茨城県警察本部の視察 (水戸市)

茨城県警察本部における警察官の剣道訓練の様子や鑑識課、交通規制課、交通総務課の所管業務および取り組み内容について説明を受けました。交通総務課では映像シミュレーターを用いて危険予測トレーニングを体験しました。



危険予測トレーニングを体験する委員

保健福祉医療委員会 (長谷川重幸委員長)

【重点審査テーマ】県民の安心安全な生活を支える医療・福祉体制の充実

筑波大学附属病院 (つくば市)

筑波大学附属病院では高度で専門的な医師たちの適切かつ統合的なチーム診療を能率よく受けられる体制の確立・維持などに取り組んでいます。地域医療構想、医師の時間外労働規制など、県の地域医療の現状と課題について説明を受け、病院内を視察しました。



病院を視察する委員

フロイデケアタウンひたちなか (ひたちなか市)

フロイデケアタウンひたちなかは、全世代・全対象型地域包括ケアの実現を目指した地域共生多機能拠点です。フロイデケアタウンの構想、事業内容、具体的な取り組みや実施イベントなどについて説明を受け、施設内を視察しました。



施設内を視察する委員

令和 8 年

各会派 基本方針

いばらき自民党



いばらき自民党
議員会長

飯塚 秋男

「安心と安全が実感で きる県政」に挑戦する

輝かしい新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年末、サッカーＪ１鹿島アントラーズが９季ぶり優勝、Ｊ２水戸ホーリーホックも初優勝とＪ１昇格を果たしました。この勢いを引き継ぎ、県民の皆さまの１年が、今年の干支「丙午」にちなみ「氣力が充実し、パワフルな年」になりますよう祈念いたします。

昨年１０月に初の女性総理となった高市首相が、就任後初の所信表明演説で「責任ある積極財政」で暮らしや未来への不安を希望に変え強い経済をつくる決意を強調し、実現への期待が高まってきたおり、県政でも大井川和彦知事の３期目が始動しました。

そうした中で、いばらき自民党は昨年１２月、県の新年度予算編成に向けて、令

和 8 年度重要政策大綱を大井川知事に提出しました。地域経済や県民の暮らしを支える 100 を超える各種団体から挙げたさまざまな要望の、県政への反映を求めたものです。

特に、物価高騰対策と人手不足対策の 2 項目を緊急最重要政策項目として、また、全国各地で生活圏にクマが出没し、国民の生命および安心・安全が脅かされている事態を踏まえて、クマ被害の対策強化を緊急重要政策項目として盛り込んだのが特徴であります。

私どもは、この重要政策大綱を議会活動の基本として、政務調査活動をはじめ、代表・一般質問、常任委員会審議を通じて、物価高や少子高齢化などによる人手不足の中でも「安心」して暮らし、自然災害や害獣被害に対しても先手を打ち「安全」を実感できる県政を目指してまいります。

新年も、議会の監視機能の強化はもとより、政策提案機能の発揮に、所属議員 43 名が一意専心に取り組んでまいります。県民の皆さまのご理解とご支援を切にお願い申し上げます。

公明党



公明党
茨城県議会議員会
代表

高崎 進

生活者が希望の持てる 政策実現を

輝かしい新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

人口減少は、経済活動の縮小、公共サービスの維持困難化、地域文化の衰退といった多方面にわたる影響をもたらします。これらを克服するには、行政・企業・地域住民が一体となった取り組みも必要であります。また、若者の定着策や子育て支援策

を強化しつつ、地域資源を最大限に活用した持続可能な地域づくりを推進していくことも重要であります。

さらに、近年、気候変動に伴い激甚化・頻発化する自然災害から県民の命と暮らしを守る防災・減災対策や、人口減少が進む地方にあっても生活者が安心して暮らし続けられる地域づくりを進める必要があります。

公明党は昨年 11 月、生活者の小さな声も政治に反映させるため、令和 8 年度茨城県予算編成に向け 517 項目の政策要望を取りまとめ、大井川知事へ提出しました。また、物価高対策においても、生活者目線で政策提案を行ってまいりました。

今後、生活者が希望の持てる政策を実現するために誠心誠意働いてまいります。県民の皆さまのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

国民民主党



国民民主党
茨城県
代表

齋藤 英彰

地域の声を力に 持続可能な未来へ

令和 8 年の新春を迎え、日頃より地域を支えてくださる県民の皆さまに、心より感謝とお慶びを申し上げます。本年が皆さまにとりまして、安心と活力に満ちた一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

本年は、干支の「丙午」にあたり、陽の火を重ね持つ年とされており、古来より、丙午は激しさや変革の象徴とされてまいりましたが、私たちはこの強い火の気を、情熱と行動力へと転

じ、地域の未来を切り拓く原動力としていきたいと存じます。また、この勢いを糧に、次なる「未年」が示す調和と成熟の年へとつながるよう、着実な歩みを進めてまいります。

茨城県は、豊かな自然環境と文化的資源に恵まれた地域であり、その潜在力を生かした持続可能な地域社会の形成が、今まさに求められております。

一方で、人口減少や高齢化の進行、地域経済の停滞、激甚化する自然災害への対応など、複合的な課題にも直面しております。

こうした中、地方議会の果たすべき役割は一層重要性を増しており、私たちは本会議や各種委員会を通じて、県民の皆さまの声を政策に反映すべく、真摯に取り組んでまいります。

国民民主党は、「生活者」および「働く者」の視点に立ち、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、引き続き全力を尽くしてまいります。本年も変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

茨城無所属・政策の会



茨城無所属・政策の会
代表

中山 一生

人と地球に優しい 茨城を目指して

令和 8 年の新しい年を、県民の皆さまと伴に迎えられること、心から嬉しく思っています。

私たち「茨城無所属・政策の会」は、4 人の会派として、玉造順一議員を加え、名前も新たに、昨年 9 月から活動を開始しました。

くしくも、国民の怒りが、衆参両選挙で続けて従来の枠組みを拒否し、既

存の政党や、保守、リベラル、右、左などの旧来の固定概念に捉われていると、新しい枠組みを創出できない時代の到来と時期が重なりました。これまでも従来の枠組みに捉われない自在なスタンスで、長年地方自治で経験を積んできた 4 人の強みを生かし、保守退嬰の茨城県議会を縦横無尽に奔走してまいります。

「民主主義の危機」が地球規模で叫ばれる中、日本でも「政治と金」の問題が政治不信を深め、分断を煽るポピュリズム勢力が躍進しました。私たちは、民主政治の使命は、分断ではなく、融和であると決意を強めています。国外にルーツを持つ議員の視点も生かし、多文化、多様性など融和を促進し、「民主主義の危機」に真っ向から抗い、新たな時代の、人と地球に優しい茨城を目指します。

県議会の録画中継をご覧ください

県議会のホームページでは、これまでに開催された各定例会における、知事の提出議案説明、各会派議員の代表質問、一般質問、予算特別委員会質疑などの様子を録画中継でご覧いただくことができます。

議会活動を文字で読むだけでなく、議場における各議員の質問・質疑の様子を映像と音声で見聞きすることで、県政で議論されている問題などを、より身近に感じていただけます。

録画中継

[会議名でさがす](#)

[議員名でさがす](#)

[会派名でさがす](#)

用語検索

検索対象は、会議名、議員名、会派名、質問項目です。

※こちらから県議会の録画中継をご覧いただくことができます。



「決算特別委員会」を開催しました

本委員会（館静馬委員長）は、第3回定例会で付託された令和6年度茨城県一般会計決算などの議案を審査するため、令和7年10月20日から11月18日にかけて、6回委員会を開催し、総括説明、部門別審査および総括質疑を行った上で採決を行い、決算関係議案4件を可決および認定しました。

部門別審査では、「県立3病院の収支状況と県民への情報提供」、「水道事業及び工業用水道事業の管路更新の進捗状況」、「業務量に応じた県職員の定員管理の実施」、「シン・いばらき総選挙2024の成果等を踏まえた今後の取組」、「霞ヶ浦流域における生活排水処理率の状況と高度処理型浄化槽の設置促進」、「避難行動要支援者への支援体制整備」、「動物愛護協議会設置へ向けた市町村への働きかけ」、「里親委託率向上へ向けた広報活動の状況」、「花絶景観光支援事業の成果と今後の取組」、「県内立地企業の雇用状況の継続的な把握と地元雇用の推進」、「いばらきeスポーツ産業創造プロジェクトのこれまでの成果」、「常陸牛のブランド力向上に向けた取組状況」、「小中学校の統廃合等の状況変化に応じた通学路整備」、「いじめを受けた児童生徒や家族への心理的なサポート」、「外国人運転者による交通事故の発生状況」などの質疑応答が交わされました。

部門別審査終了後に行われた委員会における総括質疑では、「県内企業育成のための県内企業の受注機会確保に向けた取組状況」、「新しい総合計画における主要指標の設定」など、部門別審査を踏まえた全体的、総括的、横断的な質疑応答が交わされました。

また、審査の過程で委員から出された「県内企業の受注機会確保による、雇用の維持及び地域経済の活性化について」など38項目の改善事項について取りまとめ、執行部に対し提言を行いました。

決算関係議案は、第4回定例会開会日の本会議で先議され、早期認定が図られました。



総括質疑の様子



執行部へ提言書を手渡す
館静馬委員長(中央)と
黒部博英副委員長(左側)

茨城大学で出前委員会を開催しました

県議会では、開かれた議会を目指し、議会の活動を身近に感じていただけるよう、県議会議事堂以外の場所で委員会を開催する「出前委員会」を開催しています。

今回の出前委員会では、文教警察委員会（磯崎達也委員長）の審査の様子を傍聴していただき、委員会の審査後には、委員と執行部および茨城大学の学生（約80名）との間で、委員会を傍聴した感想や県の取り組みについて意見交換を行いました。

【開催結果】

日 時 令和7年11月26日(水)
午後1時10分から
場 所 茨城大学水戸キャンパス
テ ー マ 「地域の未来を担う人材を
地域の公立学校で育成す
るための教育体制の構築」
・教員の育成
・教員配置の在り方など



茨城大学における
出前委員会の様子

常磐大学学生と西野一議長(当時)との
意見交換会を行いました

令和7年11月21日(金) 午後1時から常磐大学で開催した意見交換会には、常磐大学総合政策学部 of 学生14名が参加しました。

意見交換会では、「選挙とまちづくり」をテーマに、「選挙投票率」や「茨城への思い」、「少子化対策」について、活発な議論が交わされました。

参加した学生から、「選挙に行けば政治が変わるといった実感が若者にはない。自分の1票で政治が変わるという実感を若者に与えることができる」と良い、「茨城は住みやすいが、高校卒業後、就職や進学で県外に転出してしまっており、非常にもったいない。若者が茨城に住み続けられるような県の取り組みがあると良い」、「就職や進学で転出した若者に、いかにして戻ってきてもらうかということも大事。子育て支援を充実するなど環境を整えることで、茨城に戻ってくる若者が増えてくるのではないか」などの意見がありました。

大学生に政治への関心を深めてもらうとともに、議会においても若い世代の考え方を把握することができ、有意義な機会となりました。



常磐大学における
意見交換会の様子

令和7年度12月補正予算案が可決

令和7年第4回定例会では、人事委員会勧告に基づく職員の給与改定に要する経費について予算計上した予算案が提出され、本会議および常任委員会での審査を経て可決されました。

また、経済対策に係る国からの要請に対応し、物価高への緊急対策として、医療・介護分野などへの支援とともに、低所得の子育て世帯への給付金など重点支援地方交付金を活用した支援について予算計上した予算案が急きょ追加提出されたため、休会日であった12月12日に臨時の本会議および常任委員会を開催した上で可決されました。

12月補正予算案に計上された主な事業

- 人事委員会勧告に基づく職員の給与改定等に係る経費（12月3日提出）
100億8300万円
- 医療・介護等支援パッケージ関連事業（12月12日提出）
 - 新 医療機関賃上げ等支援事業（診療所や薬局などに対する賃上げや物価上昇への対応のための支援）
13億4200万円
 - 新 介護事業所賃上げ等支援事業（介護事業所などに対する従事者1人当たり月1万円などの賃上げ相当額の支援）
40億9600万円
 - 新 介護事業所等サービス継続支援事業（介護事業所などに対するサービス継続に必要な備品購入などのための支援）
5億2000万円
 - 新 介護施設等食料費高騰対策緊急支援事業（介護保険施設などに対する食料費高騰への対応のための支援）
4億6600万円
 - 新 障害福祉事業所賃上げ支援事業（障害福祉事業所に対する従事者1人当たり月1万円の賃上げ相当額の支援）
11億3800万円
- 重点支援地方交付金を活用した生活者・事業者への支援（12月12日提出）
 - 新 低所得の子育て世帯生活応援特別給付金事業（低所得の子育て世帯に対する児童1人当たり5万円の特別給付金の支給）
29億400万円
 - ・ L Pガス料金負担軽減支援事業（L Pガス使用世帯などに対する料金負担軽減のための支援）
6億9200万円
 - ・ 特別高圧受電施設等電気料金支援事業（特別高圧契約で受電する中小企業などに対する料金負担軽減のための支援）
1億8200万円

「県議会PRコーナー」にお立ち寄りください

議事堂1階には、来庁者の皆さまに県議会への関心を高めたいいただくため、さまざまな情報を展示・発信する「県議会PRコーナー」を設置しています。

ここでは、県議会の歴史や役割、仕組みを分かりやすく紹介するパネルのほか、実際に使用された貴重な資料や記録を展示しています。

また、令和3年11月にはPRコーナーのリニューアルを行い、一新したモニター設備で、県議会PR映像や議員紹介映像を視聴できるようにしました。さらに、令和5年11月にはデジタルサイネージを新たに導入し、議会の活動状況を紹介するフォトギャラリーを放映しています。

議事堂にお越しの際は、PRコーナーにぜひお立ち寄りください。



県議会PRコーナー

未来を拓く新たな茨城づくり調査特別委員会が調査報告(最終提言)を行いました

本委員会(半村登委員長)は、令和7年第1回定例会で設置されて以降10回にわたり、「新たな茨城づくりに向けた諸方策の在り方」について調査・検討を重ね、第4回定例会最終日に執行部への提言などの調査結果を報告しました。

調査報告では、執行部に対し、新たな県総合計画策定における基本的な考え方として、「県民が共感し、誰もが幸せを実感できる計画」、「人口減少下における戦略的な施策展開」、「地域の特性を活かした発展」、「多様性を尊重し、県民誰もが安心して暮らせる社会の実現」の4項目を提言するとともに、重点的に取り組むべき事項として、89項目の提言を行いました。

今後は、令和8年第1回定例会までに、新たな県総合計画における本委員会からの提言の対応状況の確認と、本委員会の調査結果報告書の取りまとめを進めてまいります。

【主な提言の概要】

- 計画全般に関する事項
 - ・進むべき方向性を明確にした計画の策定
 - ・分かりやすく、効果的な数値目標の設定
 - ・計画の構造的改善
- 「挑戦する県庁」への変革
 - ・働き方改革のさらなる推進
 - ・生成AIの効果的な活用
 - ・EBPM(根拠に基づく政策立案)の推進
- 新しい豊かさ
 - ・若者が求める企業の誘致
 - ・儲かる農業のさらなる取り組み推進
 - ・成長産業としてのインバウンドの取り込み
- 新しい安心安全
 - ・地域の救急医療などを担う民間病院への支援
 - ・地域活動に対する支援のさらなる充実
 - ・若者への健康教育の推進
- 新しい人財育成
 - ・主権者教育の推進
 - ・結婚・子育ての希望をかなえるための支援
 - ・外国人労働者の定着促進
- 新しい夢・希望
 - ・若者の県内就職に向けた効果的な支援
 - ・社会課題の解決に向けたデジタル技術の活用
 - ・全ての県民に愛着を持ってもらえる行政運営



調査報告(最終提言)を行う半村登委員長



※報告書の全文は、県議会ホームページでご覧になれます。

県議会を傍聴しませんか

県議会の本会議は、どなたでも傍聴することができます。

県民の皆さまにより選出された県議会議員がどのようなことを審議しているのか、目の前でご覧いただける貴重な機会ですので、ぜひお気軽にお越しください。

なお、本会議の傍聴を希望される方は、県議会議事堂5階の受付で住所と氏名を記入すると傍聴できます。

その他、団体での傍聴や常任委員会などの傍聴についての詳細については、県議会事務局議事課までお問い合わせください。



本会議場の傍聴席の様子

〈児童や乳幼児をお連れでの傍聴について〉

- ・親子席を用意しております。
- ・授乳室やおむつ替えスペースをご希望の方には、部屋をご用意いたしますので、職員にお気軽にお声掛けください。
- ・県庁内保育所や議事堂近隣の民間保育所での託児サービスも行っております(託児サービスのご利用には、事前申し込みが必要です)。

お問い合わせ先

(傍聴に関すること)

議会事務局議事課 電話029・301・5634

※県議会の傍聴の詳細は県議会ホームページをご覧ください。



(託児サービスに関すること)

議会事務局総務課 電話029・301・5613

※託児サービスの詳細は県議会ホームページをご覧ください。



委員会などの新人事

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会運営の円滑化を図るため、議会の運営に関する事項などについて協議するために設置される委員会です。

委員長	飯田 智男
副委員長	豊田 茂
委員	飯塚 秋男
川津 隆	
石井 邦一	
水柿 一俊	
高橋 直子	
八島 功男	
齋藤 英彰	
中山 一生	

情報委員会

情報委員会は、県議会情報公開条例に基づき、公文書の開示決定などに対する不服申立てや議会広報の充実についての調査などを行う委員会です。

委員長	高橋 勝則
副委員長	塚本 一也
委員	鈴木 将
小松崎 敏紀	
秋元 勇人	
岩澤 信	
村本 修司	
大足 光司	
ヘイズジョン	
秋 嘉一	

監査委員

県民代表の立場から適切な県予算の執行などについて、監査を行います。

半村 登	
黒部 博英	

パンフレット「わたしたちの県議会」をリニューアルしました

県議会の傍聴者や見学者の方へ配布しているパンフレット「わたしたちの県議会」について、県議会をより詳しく知っていただけるよう、全面的にリニューアルしました。

新しいパンフレットでは、以前より多くの写真やイラストを使用し、県議会について分かりやすく紹介しています。

また、近年の取り組みや成果として、都道府県議会の中でトップクラスの制定数を誇る議員提案政策条例や、議会改革度調査において4年連続で都道府県部門第1位となった議会改革の取り組みなどを掲載しています。

パンフレットは県議会議事堂で配布しているほか、県議会ホームページでの閲覧、ダウンロードが可能ですので、ぜひご利用ください。



パンフレット「わたしたちの県議会」



永年在職議員表彰

11月28日に茨城県議会の永年在職議員表彰が行われました。表彰を受けた議員は次のとおりです。

30年在職	10年在職
半村 登議員	水柿 一俊議員
白田 信夫議員	高橋 勝則議員
	江尻 加那議員
	磯崎 達也議員
	二川 英俊議員
	長谷川重幸議員

令和8年第1回定例会の会期日程

県議会ホームページをご確認ください。

